

若手研究者コラムリレー

杉浦 宏季 (すぎうら ひろき)



【プロフィール】

福井工業大学 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科 教授
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域: 測定評価

福井県 福井市 出身

2003年3月: 北陸学園 北陸高等学校 卒業

2007年3月: 大分大学 教育福祉科学部 卒業

2009年3月: 大分大学大学院 教育学研究科 修了

2013年3月: 金沢大学大学院 自然科学研究科 修了, 博士(学術)

2014年4月: 現職(現在に至る)

E-mail: sugiura@fukui-ut.ac.jp

本コラムリレーにて、
vol.44の田中 良 先生との
同窓生リレーが実現!!

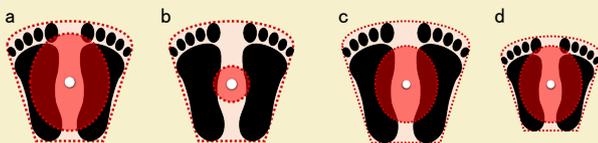


【わたしの研究】

新たな易転倒性の評価方法を 提案する!

転倒を回避する上で重要なことは、身体の重心位置の鉛直方向の投影点とほぼ一致する足圧中心(Center of Pressure: COP)の位置を支持基底面(Base of Support: BOS)内に保持し続けることです。BOSは、体重や重力により圧を感じることができる身体表面(支持面)とその間にできる底面を指しますが、COPをBOSの外周まで移動できる者はおらず、実際は、その内側までしか移動させることができません。この範囲を有効支持基底面(Limits of Stability: LOS)と呼びますが、その面積には個人差があります。

例えば、[a]と[b]のBOSは同じですが、LOSは[a]が[b]よりも大きいです。つまり、足幅の拡大や杖の使用等の戦略を用いてBOSを広げたとしても、LOSが小さければ、転倒しやすいと考えます。一方、[c]と[d]のLOSは同じですが、BOSは[c]が[d]よりも大きいです。そのため、BOSに対するLOSの割合が小さい[c]は[d]よりも転倒しやすいと考えます。



現在、BOSに対するLOSの割合を利用したバランス能力の評価方法を検討しています。従来の易転倒性のスクリーニング方法に、今回の新たな方法を併用することで、そのスクリーニングの精度はより高まり、様々なヘルスプロモーション事業に応用可能と考えています。本研究はスタートしたばかりです。これまでの研究で培ったことを活かし、成果を地域に還元できるようにします。

わたしの渾身の論文

- Sugiura et al. Changes in performance on the balance board test and motor fitness over time in elderly women. Journal of Physical Activity Research. 4(1): 47-50, 2019.
- 杉浦宏季, 木下晴登 ほか. 各都道府県における競泳インターハイ出場率の変化—2010年度と2015年度の比較—. 水泳水中運動科学 21: 12-17, 2018.



【なんでも帳】

学会名称が「日本体育・スポーツ・健康学会」に変わり、第1回目のコラムを担当できること、非常に嬉しく思っています(実際は、vol.45ですが…)。「1番」に反応してしまうのは、競技者としての経歴があるからでしょうか。数年前、「Call for Papers」のメールが届いた際に完成したばかりの論文をそこに投稿し、第1巻・第1号・1-6頁に掲載され、密かに達成感を得たことを思い出しました。今後は、「1番(第一人者)」もそうですが、「初めて(先駆者)」も意識したいです。さて、この1年で自身の立場が色々変化しましたので、今後の意気込みを整理しました。

2020年4月、硬式野球部の部長に就任しました。野球は大好きですが、草野球と観戦とTVゲームの経験しかなく、もちろん技術指導の経験はありません。しかし、野球を多方面から科学することならできそうです。チームの目標である「日本一」を達成するため、微力ではありますが、サポートしていきます。

2021年4月、クラブ活動支援センターのセンター長に就任しました。昨年は新型コロナウイルスの影響があり、新2年生のクラブ所属者は全国大会出場や入賞を目指す強化指定クラブの学生が殆どでした。つまり、それ以外のクラブにおいて、今年度は新3・4年生が主であり、仮に新1・2年生のクラブ所属者がいなかった場合、次年度以降、消滅するクラブが発生することが危惧されます。クラブ活動を通して得られることは多く、それらが社会人基礎力や将来の生きがいづくり等に影響することは間違いありません。「すべての学生」が「快」を体験できる環境をつくり、「この大学に入学して良かった!」と実感してもらえるように改革します。

プライベートの話になりますが、先日、第三子が誕生しました(待望の女の子!)。家庭も大事にし、自宅が家族5人にとっての憩いの場になるようにしていきます。

日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました! →メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPq5fY3kcB5g2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村)

